

# Shodai365

Okayama Shoka University

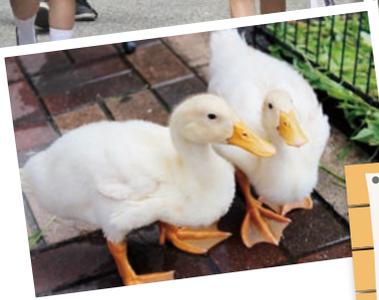
学報2013/9月号

Vol.102

岡山商科大学学報

2013年(平成25年)9月20日発行

## 2013 オープンキャンパス



多数のご来場、  
ありがとうございました。

### CONTENTS

2013年度のオープンキャンパスは、あと2013年9月22日、2014年3月21日の2回開催されます。

#### <商大トピック>

●初級スポーツ実践 シニアとともにボウリング、ダンス指導スタート ●同窓会設備寄贈 ●司法試験合格

#### <アジアレポート>

●孔子学院便り ●坐禅・茶道体験

#### <キャリアセンター便り>

●海外インターンシップ

#### <情報アラカルト>

●高大連携 中国文化プログラム ●FPコース フィールドスタディ

# 商大 トピック

## Topic 1

### 学位記授与式

2013.3.22

2013年3月22日(金)に第45回学位記授与式が挙行されました。本学附属高等学校吹奏楽部による荘厳な音楽が鳴り響く中、井尻学長や来賓の方々からのお祝いの言葉が贈られ、在校生から送辞が捧げられました。卒業生を代表して、法学部法学科保利健一郎さんが、恩師や後輩として両親への感謝を言葉に表し、将来への誓いを新たにしました。

●学位記授与者数	(名)
法学部法学科	54
経済学部経済学科	79
経営学部経営学科	132
経営学部商学科	125
商学研究科	10
法学研究科	3
経済学研究科	6

(総務企画課)

## Topic 2

### 入学宣誓式

2013.4.3

2013年4月3日(水)に本学体育館において入学宣誓式が挙行されました。本学附属高等学校吹奏楽部が春を告げる歌を奏でる中、井尻学長から学部、大学院など計506名の入学許可が宣言されました。新入生を代表して、法学部法学科の中村桃香さんが学生生活への誓いを宣誓し、大学生生活のスタートが切られました。

(総務企画課)

## Topic 3

### 初級スポーツ実践の 新しい取り組み

#### シニアとともにボウリング

試験的ではありますが、スポーツ実践(ボウリングコース)にシニア競技ボウラー(61歳以上)約10名に参加いただき授業を進めています。

シニアに技術の指導をお願いする事を通して、学生が定年まで社会へ貢献してきた人たちと触れ合うことにより、ボウリング技術だけでなく学ぶものは沢山あると考えたからです。

実際に授業を進める



と、学生たちが目上の人達への接し方、言葉遣いやコミュニケーション能力を学んできている等、視野を広め、社会性が養われている様子が見られ、成果が出ていると感じます。

核家族化した現在、学生とリタイアしたシニアとの接点は希薄ですが、お互いが得るものは多いようで、日頃緊張感の少ない学生もシニアの真剣な雰囲気を感じ取り、今まで以上に真摯に授業に取り組んでいます。シニア側も「若者と接する機会ができて楽しい」と好評です。

この取り組みを通して、シニアからの貴重な言葉に耳を傾け、学生がより一層人間性を高めてもらいたいです。

(法学部 大谷崇正)

#### 青山敦子先生によるダンス指導

岡山県立総社南高校をダンスで世界の頂点へと導いた、青山敦子先生が平成25年4月から、本学科目「初級スポーツ実践」でダンスの指導をされています。青山先生には本学の新しい取り組みを紹介するラジオ番組、「FM岡山『Shodai Style』」にもご出演いただき、その際には「ダンスはきちんとしたステップを踏まないといけないのではなく、音楽に合わせて思い切り体を動かすとダンスになる」、「自分の体で何かを表現するというのは大事なこと」という指導を通じて学生へ伝えたい思いを語られました。

青山先生は、第14回(平成24年度)岡山芸術文化賞の功労賞を受賞されました。

(総務企画課)

## Topic 4

### 商大講座 岡山方谷塾で6講座開講

毎年、岡山県下の地域団体や企業に本学の教員が出向いて講義をお届けする「商大講座」。

今年は、2013年4月に開設された「岡山方谷塾ビジネススクール」(主催:協同組合岡山県卸センター)において、6講座を開講します。(一般受講可。)

「岡山方谷塾ビジネススクール」の今年度下期のラインナップは9月初旬に発表予定です。

「岡山方谷塾ビジネススクール」:岡山県卸センター内のホール・研修室を会場に実施し、1講座の基本受講料は500円です。駐車場有。

お問い合わせ先:協同組合岡山県卸センター事務局 TEL 086-241-4131

FAX 086-241-3570

URL:<http://toiya-cho.com/>

(社会総合研究所)

#### 商大講座 「岡山方谷塾ビジネススクール」ラインナップ

日時	時間	講師	講座名	内容
10/17(木)		特任教授 長田 貴仁	松下幸之助と稲盛和夫の再来はあり得るか	昭和と平成を代表する「経営の神様」をケースにして、これからの経営者に求められる条件について考える。
11/7(木)		講師 倉持 弘	消費生活と契約	さまざまな契約にまつわるトラブルなどを紹介しながら、契約というものについて考えていただくことを目標としています。
12/19(木)	18:30 ~ 20:00	教授 三好 宏	マーケティング発想を学ぶ	モノが売れない時代といわれる中で、企業はそれにどう立ち向かっていくのか? そのカギを握っているのが、「マーケティング」に他なりません。講座では、「マーケティングとは、市場への創造的適応である」というスタンスで、その基本的な考え方や発想法について、具体的な事例を交えながら説明していきます。
1/22(水)		特任教授 馬淵キノエ	サービスライジング ~亡き淀川長治さんの暮らし方~	これまで製品として販売していたものをサービス化して提供することをサービスライジングといいます。サービスライジングは、脱物質化につながり、環境負荷を低減させ、持続可能な経済システムへの転換を図る可能性をもっています。本講座では、事業者の創意工夫による新たなビジネスを考えます。
2/22(土)	13:00 ~ 14:30	教授 越智 悦子	夏目漱石「夢十夜」を読む	夏目漱石著「夢十夜」の中から、詳細に読みたい作品を受講者の方に選んでいただき、皆さんと一緒に読解する。
3/5(水)	18:30 ~ 20:00	講師 井田 大輔	私たちの暮らしと金融	金融経済に関する基礎について解説します。具体的には金利などの変化がどのように私たちの生活に影響を及ぼすかを日本経済の現状も踏まえながら考えていきたいと思います。

## Topic 5

### 金融教育を県内各地で -キッズマネー教室-

県内16の大学で組織される大学コンソーシアムが岡山県と共催する「日よび子ども大学 in 京山祭」が平成25年6月2日(日)に岡山市北区にある県生涯学習センターで開催され、本学からは、高林宏一准教授と金融について学ぶ学生11名が参加し、「キッズマネー教室」を実施しました。教室では、子どもの生活イベントに基づいたシナリオゲームへ子ども達に参加してもらい、消費行動への関心・意欲、購入計画の立案・判断、金銭的な知識・理解を身につけてもらうことを目標にしています。約90名の児童が訪れ、大学生からお金を計画的に使うことの大切さについてお小遣い帳の付け方を通じて学びました。



また、8月22日(木)には、吉備信用金庫、総社市保健福祉部子ども課、及び「子育て王国そうじ」まちづくり実行委員会が共催する「地域における子育て支援サービスの充実」活動として、キッズマネー教室を開催しました。保護者・児童あわせて50名の参加があり、地域の子育て支援活動に貢献することができました。

さらに、9月11日(水)からは、岡山県立玉島商業高校において、キッズマネー教室の発展運営を目的として、高校生との共同作業により、ゲームシナリオ制作・開催を行い、運営、効果、自己グループ学習について新しいフレームワークを模索する事業が11月までに3回開催される予定です。

(産学官連携センター)

## Topic 6

### 岡山経済同友会ボランティアプロフェッサー 2013年度 経営学特殊講義

2013年4月から(一社)岡山経済同友会のボランティアプロフェッサー制度による経営学特殊講義を開講しています。1996年から始まり、今年で18年目を迎えました。2013年度前期は、「岡山県内の中堅・女性経営者の経営」というテーマで、税理士法人パートナーズ代表社員/川本洋氏、(株)サン



ラヴィアン社長・占部守弘氏、旅館御園専務取締役・今井真貴子氏、とら醤油(株)社長・三宅正記氏、(株)岡山高島屋・肥塚見春氏、岡田トヨタ自動車(株)社長・梶谷俊介氏にご登壇いただきました。

後期では、「人、心による経営」がテーマとなっています。様々な文化や考え方などを通して、価値観や多様性の理解と経営について、黒住教副教主・黒住宗道氏、イスラーム「アル・アマーナ」代表・河田尚子氏、カトリック倉敷教会神父・野中泉氏、真言宗長泉寺住職・宮本龍門氏、天台宗本院住職・永宗幸信氏、天台宗インド禅定林住職・サンガトラ・法天・マナケ氏、金光教平和活動センター専務理事・杉本健志氏ら6名の宗教家に2回ずつ講義をして頂く予定になっています。  
(経営学部 渡邊憲二)

## Topic 7

### 観光振興論特殊講義2013 本年度の取り組みについて

本年度は、全学部の1年生以上を対象に開講し、無事終了しました。本科目は、地域の実務家をお招きして観光振興を考える実践的科目です。今回で4回目の開講ですが、本年度は約150名の学生が熱心に受講しました。講義は、行政や関係団体の方々からは、観光の現状と未来についてお話し頂きました。両備ホールディングスの小嶋会長を始め、松田社長など経営のトップからは、観光に対する夢や理念をお話し頂きました。以上の講師陣に加えて、本年度は、地域づくりと観光の視点から、新たに二人の講師をお招きしました。一人は、株式会社レイシオン代表取締役 祁答院弘智氏です。氏からは、徳島県神山町のNPOグリーンバレーの『創造的過疎』というビジョンに基づいた地域づくりの事例を通して、地域の魅力は、そこにどんなモノがあるかではなく、そこにどんな魅力あるヒトがいるかが重要で、そこに人の交流が始まること、を学びました。もう一人は、株式会社ビザビ 執行役員兼協同組合岡山情報文化研究所 専務理事 伊藤博則氏です。氏からは、『フルーツパフェの街おかやま』の事例を通して、観光振興は地域のブランドづくりであること、を学びました。次年度以降もさらに内容を充実させ、学生にとって魅力ある科目としたいと思えます。  
(経営学部商学科 特任教授 馬淵キノ)



## Topic 8

### 「草食系」から「創職系」へ 長田貴仁特任教授による講演会

2013.7.18

平成25年7月18日(木)に本学経営学部特任教授で元「プレジデント」副編集長の長田貴仁先生による公開講演会が開催されました。長田先生は、東京、ニューヨークで新聞記者として活動した後、ビジネス誌「プレジデント」の副編集長、主任編集委員などを歴任しました。2005年から神戸大学大学院経営学研究科で教鞭を執り、現在、同大学経済経営研究所リサーチフェロー、2013年4月からは岡山商科大学特任教授として、「経営学」を担当しています。

講演会では、日本の企業のありかたや労働環境が大きく変化していることについて具体例に基づき説明され、経営者に必要とされる心構え、企業が求めている人物像や就職活動を取り巻く変化等について語られました。多くの経営者に接した経験を基に



した講演は、実学教育を重視する本学において、まさに「生きた経営学」を学生に伝えるものとなりました。  
(産学官連携センター)

## Topic 9

### 同窓会岡山県支部からの設備寄贈

2013.5.23

平成25年4月、本学同窓会岡山県支部から、本学の教育環境充実のため、映像音響設備一式の寄贈があり、学生会館2階に設置しました。設備は、アンブ、ワイヤレスマイクレシーバー、スピーカーなどの音響機器と、自立組み立て式の150インチスクリーン、プロジェクターの映像機器です。

平成25年4月26日に開催された新入生歓迎会では、早速寄贈設備が、踊りの伴奏やBGMの再生などに使用され、会の盛り上げに大いに役立ちました。

5月23日には、同窓会の谷脇岡山県支部長等を本学にお招きし、大崎副学長から、同窓会による母校の教育活動への深い理解と多大なる貢献に対して、感謝状を贈呈しました。  
(総務企画課)



## Topic 10

### 大学コンソーシアム岡山 エコナイト

環境について考えるイベント「エコナイト『セタライトタウンin岡山』」が平成25年7月7日(日)に岡山駅東口広場で開催されました。本学学生はエコキャンダルで地球を表現するイベントに他の県内8大学の学生と共に参加しました。また、市民の方に環境保護の大切さを知っていただくため「アヒルによるお米の省エネ生産」を紹介するパネルを展示、バックルコンテナに水田を再現し、アヒルを飼っし家族連れが触れ合えるブースを設置しました。ブースではアヒル農法によりつくられた米の普及を目的として、味比べができるよう小量を包装したパックを販売しました。

愛嬌のあるアヒルの雛に多くの家族連れが足を止め、エコナイトの趣旨や環境の大切さについて、学生の説明に耳を傾けてくださいました。  
(産学官連携センター)



## Topic 11

### 科学研究費補助金への取り組み

科学研究費補助金(科研費)とは、研究者の学術振興を図るため、人文・社会科学から自然科学分野まで、あらゆる分野における独創的、先駆的研究の発展を目的とする文部科学省による研究助成費です。本学からも、毎年多数の研究者が申請を行っており、平成25年度では以下のテーマで研究費の交付を受けています。

研究種目・期間	研究課題	研究者(所属)
基盤研究 (C) [研究代表者] H23 ~ 25	1関係子群と環環の原始性の研究	西中 恒和 (経営学部・教授)
基盤研究 (A) [研究代表者] H23 ~ 27	日本企業のコラボレーションとイノベーション: 新製品開発のダイナミクス	川合 一央 (経営学部・講師)
基盤研究 (C) [研究代表者] H23 ~ 26	小・中学生の社会的思考力・判断力の発達に基づく社会授業モデルの開発研究	前田 健一 (経済学部・教授)
基盤研究 (C) [研究代表者] H24 ~ 26	わが国企業の経営活動の中国展開とコスト・マネジメントのハイブリット化の実態と課題	井上 信一 (経営学部・教授)

基盤研究 (C) [研究代表者] H24 ~ 26	わが国企業の経営活動の中国展開とコスト・マネジメントのハイブリット化の実態と課題	于 琳 (経営学部・准教授)
萌芽研究 [研究代表者] H24 ~ 26	戦後日本企業と技術的知識に関する実証研究	川合 一央 (経営学部・講師)
若手研究 (B) [研究代表者] H24 ~ 26	株主権の本質と制約に関する比較法研究とその実態調査	新津 和典 (法学部・准教授)
若手研究 (B) [研究代表者] H24 ~ 25	マルチエージェント・シミュレーションによる地下街における消費者行動の解明	大東 正虎 (経営学部・准教授)
基盤研究 (C) [研究代表者] H24 ~ 26	地方のオンリーワン型中小企業の企業家活動と競争力の源泉	于 琳 (経営学部・准教授)
基盤研究 (B) [研究代表者] H25 ~ 27	科学技術政策と産業クラスターの存続に関する国際比較研究: 企業家再生産と産官学連携	于 琳 (経営学部・准教授)

(総務企画課)

## Topic 12

### 後援会総会・役員会開催

2013.6.29

毎年恒例の後援会総会が6月29日(土)、本学で開催されました。約50名の保護者の方に出席いただき、事業報告や事業計画、後援会役員の方の人事等について審議がなされ、いずれも問題なくご承認いただきました。併せて就職・就職など本学の取り組みについても報告がなされました。このたび、2004年から会長をお務めいただいた浅野産業(株)代表取締役 浅野益弘氏が退任され、新たに本学卒業生で税理士法人パートナーズ代表社員 川本洋氏が新会長に選出されました。浅野会長には、長きにわたり本会の発展にご尽力いただきました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。  
(総務企画課)



## Topic 13

### 保護者懇談会

学生の保護者に、本学の学生教育やキャリア教育に関する活動を知っていただくため、また学生の学業や生活について個別相談を行う機会として、保護者懇談会を開催しました。

毎年実施されている本学会場のほか、本年度は隔年開催の地方会場が設けられており、島根県松江市、広島県広島市及び福山市、山口県山口市、香川県高松市、高知県高知市、愛媛県西条市及び宇和島市でそれぞれ開催しました。

平成25年9月14日(土)の本学会場には、およそ100名の保護者が来場し、教学支援、資格取得支援の「商大塾」、キャリア支援について、担当教員からの説明を熱心に聞き入っていました。キャリア関係では、岡山県中小企業団体中央会から講師を招き、「中小企業の魅力について」というテーマで講演をいただきました。個別面談では、各学生のゼミ担当教員が対応し、保護者からの質問に丁寧に答えていました。  
(総務企画課)

## Topic 14

### 祝 本学卒業生が司法試験に合格しました!

本学卒業生の原田優さん(法学部法学科2011年3月卒、下田ゼミ)が2013年の司法試験に合格しました。

原田さんは本学法学部で学んだ後、岡山大学法科大学院に進学し、司法試験合格を目指して勉学に励み、今回の合格となりました。

この後は司法修習生として、研修や司法修習生考試に臨み、裁判官などの法曹となります。(総務企画課)

## 瀬戸内市・受託研究報告会

本学と瀬戸内市との間で平成23年に締結した包括協定に基づき、平成24年度に行われた受託研究についての報告会が平成25年5月17日、遠隔教育システムを利用して実施されました。

経営学部徐講師からは「牛窓オリーブ園の更なる活性化による新たなまちづくり」というテーマで、「医療観光商品」や「文化コンテンツ観光商品」などの観光商品づくり、風光明媚な環境を生かしたフィルムコミッション活動、オリーブ園を軸としたストーリーテリングについて報告と提言がありました。

経営学部大東准教授からは、備前長船刀剣博物館で開催された「エヴァンゲリオンと日本刀展」での調査結果を踏まえて、リピーターを増やすような施策の重要性、市内観光施設の連携、家族連れを招き入れるために必要な施設設備などについて報告がありました。

大崎産学官連携センター長から、経営学部岸田教授による「福岡の市」の活性化について、商品の見える化が必要であると報告があったことの説明があり、また、受託研究の成果全体のまとめと提言が行われました。

報告を受けた瀬戸内市の桑原副市長からは、それぞれの研究結果を受けた取り組みを実施していきたいこと、また今後、錦海湾塩田跡地のメガソーラー計画に関連した環境教育など、産学連携を軸とした人材育成を実施していきたいとの要望がありました。  
(産学官連携センター)

## 津山まちなか健康サポート施設整備調査分析事業について

2013年2月、本学は包括協定を結んでいる県立津山商業高校と協力して、標記調査分析事業を実施しました。これは、津山市中心市街地に位置する城南商店街振興組合と津山街づくり会社から委託を受けたものです。同組合と街づくり会社は、現在中心市街地活性化事業として、国の補助金を活用して、商店街のコミュニティ機能を強化しながら地域商業の再生を計画しています。具体的には、商店街の空き店舗にヨガやダンス、トレーニング等の教室を整備し、そこに多くの人に通ってもらうことで、住民の健康や運動能力向上をサポートしながら商店街の賑わいを取り戻そうという取り組みです。



調査は、この活性化事業を効率的に進めるために必要な住民の健康サポートに対するニーズや、商店街に求めるコミュニティ機能等を探る目的で、①商店街周辺住民へのアンケート、②商店街内にある商業施設DSイズミへの来店客への聞き取り型のアンケート、③周辺町内会役員へのヒアリング、④周辺児童クラブの保護者へのアンケートの4つを行いました。

このうち、①では本学の学生5名と津山商校の生徒11名が分担して周辺の575世帯にアンケート調査票を配布、後日郵送で返却してもらいました(有効回収数232票、回収率40.3%)。また②では、2月9日(土)から11日(月)の3連休の間、同校の生徒42名が(1日あたりの延べ人数)、朝9時から夕方18時まで同店の買い物客に対してアンケートしてくれました。時期的に冬の真っ只中で曇天の寒空という厳しい条件でしたが、生徒たちは出入り口の外に立ち、来店客一人ひとりに調査協力の声かけをして店内の調査場所まで誘導してくれました。その甲斐もあり回収目標であった200票を大きく上回る、実に605票を集めることができました。高校生が頼むと多くの来店客が協力的に対応してくれたのが非常に印象的で、改めて地元での津山商業高校の力に感心させられました。③では各町内会の役員に一堂に会してもらい、その方々へ私と本学の学生7名でヒアリングしました(④については、津山市の協力の下に実施され、学生・生徒は直接関わっていません)。

これら調査の分析結果は3月末に取りまとめ、同組合と街づくり会社に提出しました。それを受けて活性化事業は、11月から施設整備を開始する予定と聞いています。本学としても引き続きこのように津山商業高校と連携しながら、津山市の中心市街地活性化事業を支援していければと考えています。  
(経営学部商学科 教授 三好 宏)

## エッセー 数珠つなぎ

# 「いざ岡山再発見へ？」

経営学部経営学科 准教授 内田 浩徳

前期の講義日程がすべて終了し、定期テストや採点も一段落。落ち着いたうちに論文を…と思った矢先、妻から「そういう岡山出身やのに、岡山のこと全然知らへんなあ」というお声が…。ふと考えたら私の知っていた岡山駅はあんなにモダンなものではなかったし、駅周辺も大きく変化している。本年度から本校に赴任したことだし「岡山についてちょっと知ろう」と、ということで旧友らに連絡を取り、数年ぶりに再会した。

旧友らは、私が昔から日本酒を嗜好していることを知っていることで、岡山の地酒を多数そろえているお店を予約してくれていた。あくまでも個人的な見解だが、岡山の地酒といえば(銘柄は伏せるが)ちょっと辛口だが口に含んだ瞬間に甘い香りが広がる〇〇のイメージが強かった。しかし、そのお店で色々岡山の地酒を飲んでみると新たな発見が多数あった。まず、旧友が勧めてくれた〇〇〇〇。これは、原料の1つであるお米に力を入れたもので、やや甘口で後味のほどよい香りが絶妙!つぎに〇〇〇。これはかなり甘口。最初はびっくりしたが、飲んでみるとクセになる味。他にも色々飲んでみたが、総じてスッキリと甘口で飲みやすいものであった。

ふと考えてみれば、岡山には吉井川・旭川・高梁川という3つの1級河川があり、その河川には名水に選ばれた場所が3カ所もある。一般的に日本酒の成分の80%は水だといわれており、岡山はその良質な軟水を利用してお酒を醸成している。この良質な軟水ゆえに口当たりが良く飲みやすいお酒が多いのであろう(当然、お米や醸造技術も日本酒にとって重要な要素だが、紙面の関係上省略する)などと感心しながらお酒を嗜み皆で帰路についた。

帰宅後、妻にほろ酔い気分で岡山のこと(お酒)を熱弁したところ「(お酒がほとんど飲めない)私には関係あらへんやんかあ!!」といわれたのはまた別のお話…(注:地酒の味のイメージはあくまでも本人の感覚なので銘柄がわかり疑問に感じては御容赦願いたい。)

# 作家の視点

江戸川乱歩賞作家 石井敏弘  
本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

まったくの私事ではありますが、先日、車を購入しました。乗り、使ってみて、驚かされるのは、その装備。

もはやリモコン操作さえ必要ないスマートフォンであったり、外気温や燃費の状態を教えてくれるモニターであったり。

とにかく贅沢というのか、こんな装備は今やファミリーカーや軽四でも当たり前前の時代になっているということを再認識させられました。

思えばPCも、私が作家デブユー時にはまだ「これから」という時で、執筆は当初、手書きでした。デブユー後に何十万もするワードプロセッサを購入したのですが、これがまさに「書くことしかできない」わけです。

ところがその何分の一かの値段で、今や比べ物にならない多機能のPCが手に入る。PCは今では仕事上欠かせないものです。

当時の私にしてみれば、ワードプロセッサがあるだけでも感涙ものだったというのに、身の回りのものが進化してしまつと、人間はすぐに環境に適応してしまつようである、旧式で使い勝手の悪いものと、不満をため込んでしまっています。

これがあるだけでも有難かった、という気持ちをどこかに置き忘れてしまつようです。

不満に思う前に、ちょっと立ち止まってみるのも大事。

感謝も忘れたくないものです。

# Asia Report アジアレポート

## 孔子学院便り

### (1) 春節交流会

2013年2月9日、中国の年中行事である春節を中国語講座受講生や地域住民に体験してもらうため、「講演会・春節交流会」を開催した。交流会に先立って、孔子学院南部総学院長は「転換期の中国経済」と題して講演をし、その後参加者は孔子学院の教師や留学生達と共に餃子を作った。参加者は中国茶、書道、中国結びを体験しながら盛んな交流が行われた。中国語講座受講生、地域住民と留学生を併せて約70名の参加者があった。

### (2) 第1回中国文化サロン

2013年5月26日、中国文化の普及を市民に因る事を目的として「第1回中国文化サロン」を開催した。

第1回中国文化サロンは中国茶の楽しみ方について詳しく紹介し、いろんな種類の中国茶の入れ方を実演した。孔子学院受講生と近隣住民を併せて約16名の参加者があった。

### (3) 端午節交流会

2013年6月10日、中国の年中行事である端午節を中国語講座受講生や地域住民に体験してもらうため、「端午節交流会」を開催した。交流会に先立って、孔子学院黎曉妮副学院長は端午節にまつわる伝説を紹介し、その後参加者は孔子学院の教師や留学生達と共にちまき作りなど体験した。最後は、孔子学院盛凱副学院長は太極拳コースの受講生と共に太極拳の学習成果を披露した。中国語講座受講生、近隣住民と留学生を併せて約56名の参加者があった。

### (4) 中国語スピーチコンテスト

孔子学院が設立されて6年目になり、これまでの受講生が学習成果を発表し、他の中国語学習者と交流する機会を提供するため、2013年6月22日に第2回中国語スピーチコンテストを開催した。書類審査を通過した9名(社会人5名、学生4名)が発表し、最優秀賞を獲得した2名の発表者は「サマーキャンプ」に招待された。

### (5) 料理教室

2013年7月6日、岡山市福祉交流プラザ富原の要請を受けて、中国餃子作り教室を開催した。孔子学院教師は丁寧に参加者に説明し、餃子作りを体験してもらった。そのほか、簡単な中国語漢字教室も行われた。近隣地域から15名の家庭主婦が教室に参加した。

### (6) 青少年中国文化体験ツアーin旧閑谷学校

2013年7月27日、「青少年中国文化体験ツアーin旧閑谷学校」を実施した。留学生、小中学生と保護者を併せて約20名の参加者があった。参加者は講堂で論語を学習したり、史跡と資料館を見学したり、太極拳を体験した。楽しい一日を過ごした。

### (7) 学生中国文化短期研修

2013年7月31日より8月3日まで4日間、学生中国文化短期研修を実施した。参加者(12名)は上海、蘇州、無錫を訪れ、現地で中国文化に触れ、日本との違いや共通点等体験し、学ぶことができた。

#### 孔子学院2013年度前期教学及び文化活動状況

日常教学業務				
番号	講義名称	講義の対象	クラス数	学生数
1	前期中国語講座(入門、初級、中級、上級)	社会人	12	62
2	長期生コース(前期)	社会人	1	2
3	子供向け中国語講座	小学生	1	12
4	太極拳コース(前期・後期)	社会人	1	6
5	初級中国語	学部生	4	135
6	RSKラジオ講座	一般リスナー	25	約8万
合 計:				217

市場開拓及び文化推進業務			
番号	活動名称及び概略	対象とする人	参加者の延べ人数
1	春節交流会	社会人及び学生	約70
2	第1回中国文化サロン	社会人及び学生	18
3	端午節交流会	社会人及び学生	約60
4	第2回中国語スピーチコンテスト	社会人及び学生	50
5	料理教室	社会人	16
6	青少年中国文化体験ツアー	小中学生及び保護者、大学生	20
7	学生中国文化短期研修	高校生、大学生、大学院生	12
合 計			約246

## 「日本事情」課外授業～「坐禅・茶道」体験と「犬養木堂記念館」見学～

7月6日(土)本日も猛暑を予感させる早朝、「日本事情」受講生の中国、韓国、ベトナムからの留学生24名は課外授業として学園バスで犬養木堂記念館へ向かいました。

記念館に到着すると、短冊に自分の願いを書くという七夕行事で当日お世話していただく地元の方々から温かい歓迎を受けました。早速「坐禅体験」が始まりました。どのように座ればいいのか、坐禅の先生は親切に指導してくださいました。座布団の上に、両足を組んで結跏趺坐をする姿勢です。結跏趺坐を組んだ足の上に右手を上に向け、その上に左手のひらを上にして重ねます。また両手の親指先端をかすかに合わせるという手の組み方にします。そのあと、坐禅の本番に入り、20分ほど瞑想の境地に浸ります。その間に眠気や雑念が出た人には警策で肩を叩いてもらい気を取り直します。坐禅の講話では「ベストワンではなく、オンリーワンの姿で人生を歩んでください」と先生の言葉もあり、極めて独特な坐禅体験をして、忘れられない貴重な思い出となりました。

次に体験したのは茶道でした。茶は、日本人にとって日常生活に欠かすことが出来ないもっとも親しみ深い飲み物です。「日常茶飯事」という言葉は、茶と日本人の生活との深い関係を明確に表しています。しかし、茶道は、むしろ日常生活の対極に位置していると考えられます。喫茶という単純な日常生活に様々な作法を持ち込んで、はじめて成り立つ世界です。茶約でナツメの中にある抹茶を茶碗に入れる段階で



はすでに厳格な作法は始まっています。先生は柄杓で釜の湯を茶碗に注いで、茶筴で茶を軽く混ぜる。勧められた茶碗を右手で引き寄せて左の手に載せ、右手で時計回りに二回まわして静かに全部飲んでしまう。そして、指先で茶碗のふちを清め、指先は懐紙で拭き、茶碗を時計回りと反対に二度まわして茶碗の美しさを愛でながら礼を言って、茶碗を主人に返す。このような段取りで私たちは順次茶道を体験しました。ところで、茶道は作法だけで成り立つものではないことを学びました。茶道は個人的なものではなく、共同、集团的なものだと思いました。人々が寄り集うところで「わび」「さび」といった美意識を共感し、一期一会のもてなしを大切にすると理解しました。私たち素人にはまだまだほど遠い茶道の奥行きでしたが、着物姿の先生方は、私たちひとり一人に親切に教えていただき感謝の念でいっぱいです。

楽しい坐禅と茶道の後、私たちは赤い橋を渡って日本風屋敷の犬養木堂記念館を訪ねました。玄関に一歩入ると歴史を深く感じさせる雰囲気包まれ、写真や書道の作品を見ながら、館長さんの案内で記念館の意義や木堂の説明を受けました。記念館は木堂の功績を讃えるとともに、地域文化の振興に役立てるために建設されたものです。木堂の人生の歩みを見てみると、政治家としての木堂に尊敬の感を覚えしました。そして、ロビーを出ると目に入ったのは、白砂を敷いた日本の伝統的な庭園でした。驚くほどきれいな庭園は瀬戸内海をイメージして造られたと知った時、作者の意匠に心から感動しました。

今回の日本事情の課外授業を通して、日本の伝統文化をしみじみと体験し、岡山地域の歴史も深く理解できました。なかなか出来ない貴重な経験だったと思います。

(岡山商科大学交換留学生 黄優斌 楊帆 銭旭威)

## 新入生歓迎会

春、不安を胸に私はこの岡山商科大学に入学しました。高校生とは違う、自由の中にある責任、そうした重みを感じていました。

学部によって、また講義によって友達を作ることが難しかった、そんな最中実施された新入生歓迎会、当日の参加者の多さにこんな人数の中からほんとに友達を作っていけるのか、という不安を覚えました。

学長や先輩からの言葉、「困難なことや分からないことがあれば私たちに頼ってください。」私たちが温かく迎え入れてくださっていることを感

じ、周りの大きさに気付かされました。

そしてその後食事をする中で、周りから笑顔が生まれました。今まで知らなかった人たちの温かさ、思い、優しさに触れ、お互いが繋がれたと感じることができました。

不安は希望に代わり、期待が明日へ進む自信をくれました。私は岡山商科大学の一員であると… (経営学部 一年 山上真矢)



# キャリアセンター便り

## 就職活動あれやこれ

### 自分史を語る。これが内定の秘訣

「学生生活を通じてどのように成長しましたか？」採用試験の際、企業から必ずこの質問があります。つまり、答えられなければ社会人にはなれません。この質問の答えを学生と共に見つけ出すのも私たちキャリアセンターの仕事。「入学前の自分と今の自分を比べて精神的に強くなったことはある?」「どんな手法を使って強くなったの?」こんな会話をしながら学生が成長したところをお互いに見つけ出します。自分史を語れるかどうか、これが就職試験に合格する秘訣です。

### 就職活動は成長するためのプロセス

「確実に内定を取れる企業を紹介してください。」こんな相談を学生から受けます。最近の学生は大学・高校受験でも無理をせず、挑戦することなく確実に合格する大学・高校を受験しており、その感覚で採用試験を受験しようとしているのだと思います。大学3年生の12月になって始めて不合格になる可能性のある採用試験を受験しなければならない彼らの気持ちもわからないでもありません。私たちは、そのような学生に「今のあなたに内定を出す企業はない。たくさんの企業を受験し何度も何度も不合格になることにより人は成長する。不合格になってその理由を自分なりに考え、次回の試験で同じことをしない。」これの繰り返しこそが内定への近道だと伝えます。就職活動は学生を成長させるプロセス。これを経験せずして社会人になれません。

### 会社説明会は自分探しの第一歩

多くの業界・企業の中から受験する企業を選ぶ。就職活動を迎える3年生が最初に迷うこと。当然、早くから明確に自分の目標を定めている学生も少なくありませんがほとんどの学生はこの迷いからスタート。社会との結びつきが少ない学生たちが業界・企業を知るきっかけとなるのが会社説明会。就職活動中の現役大学生しか参加できない大切なイベントです。最初からイメージで業界・企業を選ぶ

ことなく多くの企業説明会に参加することが自分探しの第一歩になります。

### 就職活動を楽しむ。3年生修了までに多くの単位を取得する。

2016年度以降卒業予定者(1・2年生)の就職活動解禁時期が3年生の3月、4年生の8月選考スタートに変更されます。これにより4年生の4~7月に会社説明会が集中することが想定され、就職活動中の授業出席に支障がでる可能性があります。1・2年生の学生は3年生修了までに出来るだけ多くの単位を取得するようにしてください。

大学2年生(2013年度現在)からの就活はこう変わる

		変更後	現在
大学3年	12月	解禁(説明会などの広報活動)	現在 解禁
	1月		
	2月		
大学4年	3月	選考活動開始(筆記試験・面接など)	選考活動開始
	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		

### 海外インターンシップに6名の学生が参加

毎年、夏休みに開催されるカンボジアとフィリピンの海外インターンシップに計6名の学生が参加しました。また、日本国内では延べ33名の学生が金融機関、税理士事務所、公共施設、一般企業等でのインターンシップに参加しました。

#### ○カンボジア

JHC社アンコールツアーシェムリアップ事業部  
(8月28日(水)~9月7日(土))

法学部法学科 3年 渡邊 真也(金光学園高校出身)  
経済学部経済学科 3年 荒木 佳祐(笠岡商業高校出身)  
経営学部商学科 3年 萱原 詩央里(香川中央高校出身)

#### ○フィリピン

JPN, INC (8月26日(月)~9月7日(土))

経済学部経済学科 3年 山崎 博貴(落合高校出身)  
経営学部経営学科 3年 新井 歴(高松商業高校出身)  
経営学部経営学科 2年 井上 慎平(岡豊高校出身)

## 平成24年度計算書(岡山商科大学収支内訳表)

資金収支内訳表

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,663,030	1,678,289	△ 15,259
手数料収入	18,250	18,565	△ 315
寄付金収入	15,100	13,869	1,231
補助金収入	85,130	79,643	5,487
国庫補助金収入	85,000	79,546	5,454
地方公共団体補助金収入	130	97	33
資産運用収入	6,344	3,461	2,883
事業収入	36,721	58,250	△ 21,529
雑収入	147,433	176,408	△ 28,975
収入の部合計	1,972,008	2,028,485	△ 56,477
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,200,071	1,165,751	34,320
教育研究経費支出	416,244	380,961	35,283
管理経費支出	144,281	114,540	29,741
借入金等利息支出	1,637	1,584	53
借入金等返済支出	21,680	21,680	0
施設関係支出	500	0	500
設備関係支出	42,837	34,634	8,203
支出の部合計	1,827,250	1,719,150	108,100

消費収支内訳表

(単位:千円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,663,030	1,678,289	△ 15,259
手数料	18,250	18,565	△ 315
寄付金	15,100	13,869	1,231
補助金	85,130	79,643	5,487
国庫補助金	85,000	79,546	5,454
地方公共団体補助金	130	97	33
資産運用収入	6,344	3,461	2,883
事業収入	36,721	58,250	△ 21,529
雑収入	147,433	180,561	△ 33,128
帰属収入合計	1,972,008	2,032,638	△ 60,630
基本金組入額合計	△ 65,017	△ 55,030	△ 9,987
消費収入の部合計	1,906,991	1,977,608	△ 70,617
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,173,178	1,147,867	25,311
教育研究経費	511,470	496,125	15,345
管理経費	181,032	152,808	28,224
借入金等利息	1,637	1,584	53
資産処分差額	1,000	4,870	△ 3,870
消費支出の部合計	1,868,317	1,803,254	65,063

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

## 高大連携 中国文化プログラム 津山商業と留学生が交流

本学は、平成24年4月に県立津山商業高校と包括協定を締結して以来、本学の留学生が高校を訪問しての交流会、また高校生が本学を訪問しての体験授業など、積極的な連携活動を実施してきました。

本年度は新しい取り組みとして、平成24年度文部科学省「私立大学教育研究活性化設備整備事業」により整備した遠隔通信システムを利用した中国文化プログラムを実施しています。同システムは地域との連携活動における地理的・時間的制約という課題を解決するために設置したもので、学生がそれぞれの学校に居ながらにして交流活動を行うことを可能としています。

中国文化プログラムは、本学の留学生が高校生に中国の文化を伝えることで交流を図るもので、中国の民族、言語や地理的な情報から、伝統文化、料理、さらには若者の恋愛観やファッションについてなど多岐にわたるテーマで、本年5月から11月まで全10回で行っています。

高校生からは、事前準備しながらも気兼ねの無い素直な質問が寄せられ、答える留学生はタブレットPCや画用紙を活用して、できる限り分かりやすく説明するよう一生懸命工夫しています。留学生は中国の様々な地域の出身で、時には留学生同士が自国の言葉や文化の違いに驚くなど、和気藹々とした雰囲気の中、新たな発見や学びの多いプログラムとなっています。  
(産学官連携センター)



## 24時間テレビに協賛 新庄村フィールドスタディ

平成25年7月24日(水)に、岡山県新庄村谷田地区の美しい自然を次の世代に残すため、環境美化の活動を行いました。

本学からは校友会・大学祭実行本部の学生等を中心に12名が参加し、覆い茂るカヤを草刈り機などで刈り取り、草原に従来から生えていた草花が生育しやすい環境を整備しました。この取り組みは日本テレビ「24時間テレビ『愛は地球を救う』」の協賛活動として番組の中でも紹介されました。

本学と新庄村はこうしたボランティア活動の他、学生フィールド調査や有機農法の指導等で積極的な活動を推進しており、交流を深めています。  
(産学官連携センター)



## 経営学部商学科FPコース フィールドスタディ実施 2013年8月5日～8月6日

経営学部商学科FPコースでは、「新しい金融システムを活用した地域活性化」を研究テーマとしたフィールドスタディを岡山県英田郡西栗倉村にて実施しました。

西栗倉村は岡山県東北部に位置する人口1,600人に満たない村落ですが、2004年より、官民一体となった「百年の森林事業」を展開しています。これにより、クラウドファンディングという新しい金融システムを活用して高額な林業機械の購入資金を調達することが可能となり、機械化による効率的かつ生産的な森林事業が行われています。また、木材を利用した新商品の企画・開発等にかかわるIターン者の増加にも結びつき、林業を基盤とした地域活性化を実現したモデルといえます。まさにFPコースの研究にふさわしい内容です。

2日間にわたるフィールドスタディでは、西栗倉村役場や森林組合、ネットを利用してファンド資金を調達した企業の子会社で森の商社機能を担う西栗倉・森の学校を訪問し、森林事業における現状と課題についての聞き取り調査、森林伐採(間伐)現場等の調査を行いました。

特に、西栗倉村役場では、予定時間を大幅に越えて質疑応答が繰り返され、林業事業における資金調達に関する課題、出口戦略としての間伐木材の販売戦略、Iターン者等による人口増加の実態及び課題などについて探究でき、参加した学生の今後の研究課題も見つかりました。

今回、「新しい金融システム」と「地域活性化」という2点が融合したモデルケースについて調査・研究できたことは、FPコース生にとって大きな財産になったことでしょう。(経営学部 海宝賢一郎)



## 人事異動

種別	役職等	氏名	所属	日付
退職	教授	喜田栄次郎	経済学科	3月31日
	教授	濱名外喜男	経済学科	
	教授	山口博幸	経営学科	
	教授	大城裕二	商学科	
	教授	ダウディング	商学科	

退職	准教授	成澤 寛	法学科	3月31日
	准教授	山根明子	経済学科	
	招へい講師	張 洪梅	商学科	
	招へい講師	万 宇寧	商学科	
	事務局長	小笠原 均	事務局	
退任	嘱託職員	横山一哉	学生課	3月31日
	嘱託職員	山本二郎	入試課	
	法学部長・法学科長	伊藤治彦	法学科	
	経済学部長・経済学科長	多田憲一郎	経済学科	
	経済学研究科長	福田 亘	経済学科	
採用	法学教育センター長	香山忠志	法学科	4月1日
	孔子学院長	南部 稔	商学科	
	教授	前田健一	経済学科	
	教授	三谷直紀	経済学科	
	大学院専任教授	天野雅敏	商学研究科	
	特任教授	長田貴仁	経営学科	
	准教授	内田浩徳	経営学科	
	准教授	渡邊憲二	経営学科	
	講師	山本二郎	経済学科	
	招へい講師	丁 勇	経営学科	
昇任	招へい研究員	孟 丹	商学科	4月1日
	嘱託職員	孫 曉禹	学生課	
	嘱託職員	橋本 有史	学生課	
	准教授	加藤摩耶	法学科	
	准教授	小浦美保	法学科	
新任	准教授	大東正虎	経営学科	4月1日
	係長	中村 裕	総務企画課	
	主任	面手昌樹	教務課	
	経済学研究科長	田中勝次	経済学科	
	法学部長・学科長	西浦 公	法学科	
	経済学部長・学科長	佐井至道	経済学科	
	学生支援センター長	岸田芳朗	商学科	
	社会総合研究所次長	海宝賢一郎	商学科	
	法学教育センター長	伊藤治彦	法学科	
	孔子学院長	渡邊憲二	経営学科	
再任	副学長			4月1日
	図書館長			
	産学官連携センター長	大崎 紘一	経営学科	
	社会総合研究所長			
	経営学部長・学科長	川本和則	経営学科	
	商学研究科長	三ッ井光晴	商学科	
	商学科長	坂下 晃	商学科	
	留学生別科長	岸本雅之	経営学科	
	入試部長	小松原実	経営学科	
	入試部次長	三好 宏	商学科	
異動	参与	仁科昭宣	入試部	7月1日
	課長	安井 聡	キャリアセンター課	
	主任	胡 勇彬	入試課	
採用	事務局長	三浦一男	事務局	7月1日
	参事(嘱託職員)	阿部敏昭	入試課	8月1日

(総務企画課)

## 訃報

本学名誉教授 川本和明先生が、去る2013年5月31日ご逝去されました。先生は平成6年4月に商学部(現・経営学部)教授として本学に赴任されました。大学院商学研究科の設置(平成7年4月)に大いに力を尽くされるとともに、設置後は、同研究科長、大学院総務室長、大学院長を歴任、その発展に寄与されました。また、平成16年度には副学長に就任、学部教育と大学院教育の連携を進められました。



大学院の創設から黎明期にかけて、教育・運営の基盤構築に邁進された先生の功績は本学にとって計り知れないものです。学外においても各種審議会等での活動を通じての社会貢献をされました。平成21年春には瑞宝中級章を受章、没後、日本国政府より正四位に叙せられました。(総務企画課)

## 2014年度入試日程

A O 入試		全学部 エントリー期間：2013年7月1日(月)～2014年2月7日(金) 試験場：本学 「岡山商科大学で学びたい」そんな君たちからのエントリーをお待ちしています。					
試験区分	学 部	出願期間	試験日	合格発表	試験会場		
推薦入試	指定校推薦	全学部	9月17日(火)～10月11日(金)	10月19日(土) 10月20日(日)	10月25日(金)	本 学	
	専門能力推薦		全学部	10月 7日(月)～10月25日(金)	11月 2日(土) 11月 3日(日)	11月 8日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照
	一般公募制推薦	前期		全学部	11月11日(月)～12月 6日(金)	12月14日(土)	12月20日(金)
		後期					
〔一般公募制推薦入試 前期A・B日程 試験会場〕 本学、広島、福山、松江、高松、松山、高知							
一般入試	前期	全学部	1月 6日(月)～ 1月31日(金)	2月 8日(土) 2月 9日(日)	2月14日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照	
	A日程 B日程		全学部	2月 3日(月)～ 2月21日(金)	2月27日(木)	3月 7日(金)	本 学
	中期日程	全学部		2月24日(月)～ 3月 7日(金)	3月14日(金)	3月20日(木)	本 学
	後期日程						
〔一般入試 前期A・B日程 試験会場〕 本学、広島、福山、鳥取、松江、高松、松山、高知、小倉							
大学入試 センター試験 利用入試	前期日程	全学部	1月 6日(月)～ 1月31日(金)	2月10日(月)～ 2月27日(木)	2月14日(金)	個別試験は課さない 3月 7日(金) 3月20日(木)	
	中期日程		2月10日(月)～ 2月27日(木)				
	後期日程		3月 3日(月)～ 3月13日(木)				

### 出願方法

- ・郵送受付は締め切り日消印有効
- ・窓口受付は8:30～16:30 ただし、土・日・祝日、大学休業日を除く

入試部：TEL 086-256-6652

## 第48回商大祭

第48回商大祭が10月26日(土)、27日(日)の2日間の日程で開催されます。  
今年のテーマは「Smile ～48回目のキセキ～」です。私たちは今回の大学祭を今まで以上に笑顔溢れるものになりたいと思っています。皆様に来場いただくことで、心から笑顔になってもらいたいという願いをテーマに込めました。

期間中は、多彩なステージ企画、バラエティに富んだ模擬店の出店、展示等、内容盛り沢山です。なお、体育館では、1日目は「お笑いライブ」、2日目は「プロコンサート」を開催します。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

### 【体育館ステージイベント出演者】

10月26日(土)

☆よしもとのお笑いLIVE!!☆

- ・渡辺直美
- ・品川庄司
- ・江西あきよし



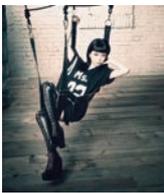
品川庄司

渡辺直美

10月27日(日)

☆プロコンサート☆

THE MOTORIOUS VENUS TOUR2013  
加藤ミリア LIVE!



加藤ミリア

●お問い合わせ/大学祭実行本部

Tel.086-256-6852(平日16:30～18:00受付)

もしくはオフィス星野

Tel.086-272-6866(平日13:00～17:00受付)

(大学祭実行本部)

## 公開講演会のお知らせ

本学を会場に以下の講演会が予定されています。

### <平成25年度「ももたろう未来塾」公開講座>

日 時：平成25年10月20日(日)13時～14時30分

御立尚資氏(ポスコンコンサルティンググループ日本代表)

平成25年11月17日(日)13時～14時30分

福井俊彦氏((一財)キヤノングローバル戦略研究所理事長)

会 場：本学4号館421教室

主 催：岡山県

お問い合わせ：岡山県庁県民生活交通課 県民協働推進班 電話086-226-7287(直通)

### <食・農を考えるシンポジウム>

日 時：平成25年11月16日(土)10時～15時10分

岸田芳朗(本学経営学部教授)ほか

会 場：本学7号館781教室

主 催：(公財)自然農法国際研究開発センター

お問い合わせ：岡山商科大学経営学部 教授 岸田芳朗 電話070-5424-2729

詳細は、お問い合わせ先、または主催団体にお尋ね下さい。

## 慶應MCC 夕学講座 2013年度後期 開催予定

<2013年9月3日現在の予定です。>

全15講座 東京・丸の内への講座をライブ中継

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会 場 岡山商科大学 7号館781教室
- 受講料 パスポート券(15回)10,000円  
受講券(1回)1,200円

### 10月2日(水) <気鋭の論客に聞く>

佐藤 優 (さとう まさる)

作家・元外交官

「安倍外交は国益を体現できているか」

### 10月8日(火) <先が見えない時代の経営論>

楠木 建 (くすのき けん)

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授

「経営センスの論理」

### 10月15日(火) <先が見えない時代の経営論>

細谷 功 (ほそや いさお)

ビジネスコンサルタント

「組織の老化」のメカニズムと対処法」

### 10月16日(水) <文化の力を信じる>

千住 真理子 (せんじゅ まりこ)

ヴァイオリニスト

「生命の音、音の力」

### 10月29日(火) <先が見えない時代の経営論>

澤上 篤人 (さわかみ あつと)

さわかみ投信株式会社 取締役会長

「個人の長期投資が日本を育てる」

### 10月31日(木) <気鋭の論客に聞く>

橋爪 大三郎 (はしづめ だいさぶろう)

社会学者

「ビジネスパーソンよ、宗教を学べ」

### 11月7日(木) <素晴らしき哉人生>

三浦 雄一郎 (みづら ゆういちろう)

プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長

「人生はいつも「今から」～80歳エベレスト登頂を終えて～」

### 11月12日(火) <文化の力を信じる>

安藤 忠雄 (あんどう ただお)

建築家・東京大学名誉教授

「創造力を磨く」

### 11月21日(木) <市場をつくる、社会をつくる>

駒崎 弘樹 (こまさき ひろき)

認定NPO法人 フローレンス 代表理事

「社会を変えるを仕事にする!～社会起業家という生き方～」

### 11月27日(水) <気鋭の論客に聞く>

池内 了 (いけうち さとる)

総合研究大学院大学 理事・教授

「科学は終焉するのか?～「科学の限界」に直面して～」

### 12月5日(木) <気鋭の論客に聞く>

小幡 績 (おばた せき)

慶應義塾大学ビジネススクール 准教授

「アベノミクスとバブル」

### 1月9日(木) <市場をつくる、社会をつくる>

出雲 充 (いずも みつる)

株式会社ユーグレナ 代表取締役社長

「ミドリムシが地球を救う」

### 1月21日(火) <市場をつくる、社会をつくる>

山崎 亮 (やまざき りょう)

株式会社studio-L代表、京都造形芸術大学教授

「問題解決メソッドとしてのコミュニティデザイン」

### 1月28日(火) <市場をつくる、社会をつくる>

國領 二郎 (こくりょう じろう)

慶應義塾大学総合政策学部教授、慶應義塾常任理事

「ソーシャルな資本主義」

### 1月31日(金) <素晴らしき哉人生>

篠田 謙一 (しのだ けんいち)

国立科学博物館人類研究部人類研究グループ長

「人類20万年の旅と日本人の起源」

●お申込み・お問合せ先

●岡山商科大学社会総合研究所  
TEL&FAX 086-256-6656